

総目次(9)

第20巻1号～第41巻12号

日本語単語による語音聴力検査の試み	大和田健次郎・他, 301(37)
知覚障害児の自覚的聴力閾値の信頼性	清水 弘・他, 321(37)
聴力の変化とその判定について	大和田健次郎, 1028(37)
誘発電位聴力測定	田口喜一郎, 245(38)
両耳聴の基礎的研究に関する文献的考察	松崎 力, 387(38)
聴覚反応時間に関する実験的研究	佐藤恒正・他, 477(38)
聴覚検査法の意義に関する1考察	松崎 力, 1061(38)
SISI テストの臨床的観察	佐々木治夫, 297(79)
耳管機能測定法に関する一考察	石井哲夫・他, 367(40)
条件詮索反射聴力測定装置の改良	坂部長正・他, 361(40)
幼児の聴力検査方法について	大和田健次郎・他, 351(40)
減衰速度変換による自記オージオメトリーの観察	長谷川浩通, 119(41)
減衰ステップ変換による自記オージオメトリーの観察	長谷川浩通, 941(41)
下顎関節弛緩による他覚的耳鳴の1例	佐野 定敏, 157(21)
耳鳴に対する亜硝酸アミル $C_9H_{11}ONO$ 療法	鮑 健生, 299(21)
耳迷路外科の経験(第3報)	
耳鳴に対するポルトマン氏手術の効果に就いて	立木 豊, 89(22)
耳鳴について	北川信太郎・他, 62(23)
耳鳴の数値的表現について	水落 知, 194(23)
耳鳴の治療について	岩田 逸夫, 469(23)
耳鳴検査について	大和田健次郎, 1(24)
耳鳴の治療法	後藤 敏郎, 537(24)
耳鳴治療に翼口蓋神経注射を行える例	本間弥三郎, 542(24)
アムモニウム塩の耳鳴に対する効果	山野辺守幸・他, 137(25)
耳鳴の遮蔽曲線と聴力との関係	大和田健次郎・他, 168(25)
耳鳴と眩暈を主訴としたヒステリーの1例	志多 享, 331(25)

耳鳴の分類について	水落 知, 663(25)
耳鳴検査法の検討	大和田健次郎・他, 101(26)
耳鳴と聴力について	水落 知, 105(26)
電気刺激(直流及び交流)の耳鳴治療	水落 知, 105(26)
所謂無響室内耳鳴に就いて	水落 知, 489(27)
耳鳴の発生機転	大和田健次郎, 735(27)
耳鳴の発生機転	勝木 保次, 743(27)
耳鳴の数値的表現と分類	水落 知, 750(27)
精神科で扱う耳鳴と眩暈	竹山 恒寿, 763(27)
鼓室神経叢麻酔と切断	椎津 清彦, 763(27)
星状神経節遮断と耳鳴	大藤 敏三, 769(27)
ダンティの第8脳神経切除術の所感	小田 大吉, 778(27)
耳鳴の治療	後藤 敏郎, 785(27)
文学と耳鳴・眩暈	西端 驥一, 796(27)
迷路腐骨症例と耳鳴に就ての講義	後藤敏郎・他, 387(28)
所謂神経性耳鳴に対する星状神経節遮断効果について	佐藤寛太郎・他, 657(28)
耳鳴の一統計的観察	赤池清美・他, 661(28)
補聴器の臨床	永浜武彦, 187(29)
補聴器と読唇術の併用に成功した難聴例	森山静也・他, 401(29)
耳鳴のニコチン酸療法小験	磯野 弘・他, 855(29)
鼓膜穿孔と耳鳴	貝塚 侑, 1020(29)
歯牙補綴と耳鳴	矢崎 正方, 77(30)
他覚的耳鳴に就て	山本常市・他, 708(30)
他覚的耳鳴に就いて一特に血管性他覚的耳鳴	山本常市・他, 853(30)
主訴としての耳鳴について	永浜武彦・他, 27(31)
補聴器の装用耳について	永浜 武彦, 197(31)
補聴器使用が残存聴力に及ぼす影響	松井 亮児, 663(31)
耳鳴における精神的因子について	中沢 恒夫, 1033(32)
他覚的耳鳴の1例	小松 晃・他, 123(33)
高血圧症における耳鳴について	中沢 恒夫, 107(33)
慢性中耳炎の耳鳴について	中沢 恒夫, 35(33)
耳鳴の定義と分類	永浜 武彦, 731(35)
軟口蓋の間代性痙攣を伴った	

- 他覚的耳鳴症例について…………緒方 聖・他, 1201(37)
- 耳管通気法と耳鳴……………永浜 武彦, 33(38)
- 他覚的耳鳴の2症例—動脈瘤性耳鳴と軟口蓋間代癒性耳鳴……………佐々木順三, 603(38)
- 耳鳴と難聴との関係について……………中沢 恒夫, 157(38)
- 耳鳴遮蔽検査の可能性について……………永浜 武彦, 469(38)
- 血管性他覚的耳鳴の1例—耳科領域疾患に対する脳血管撮影の診断的意義(2)……………沼倉 昌雄, 931(39)
- 耳鳴の周波数—Masking Method による……………永浜 武彦, 1069(39)
- 耳鳴の周波数—Pitch Match Method による……………永浜 武彦, 1177(39)
- 耳鳴の大きさ……………永浜 武彦, 355(40)
- 耳鳴の治療効果を判定する方法について……………永浜 武彦, 431(40)
- tinnogram に関する研究補遺……………永浜 武彦, 895(40)
- 随意性他覚的耳鳴の2症例……………竹越 省一, 443(40)
- 耳鳴治療成績の検討(後篇)……………永浜 武彦, 159(41)
- 補聴器と臨床……………恩地 豊, 601(26)
- 補聴器の進歩……………大和田健次郎, 607(26)
- “Early Hearing Training”の可能性について……………高木 二郎, 223(32)
- 補聴器装用耳の選択に関する1考察……………松井 亮児, 741(32)
- 補聴器による語音聴力検査法……………武山 貢次, 721(28)
- 電気補聴器の適応とリハビリテーション……………岡本途也・他, 969(38)
- 身障2級者に補聴器交付の問題点……………岩田逸夫・他, 329(40)
- 中学校の難聴生徒に対する補聴施策とその効果—ワイヤレスマイク補聴について……………高原滋夫・他, 665(40)
- 動揺病に対する重曹注射の意義……………長谷川高敏, 43(20)
- 重曹注射による船暈の予防(第1編)……………藤崎 茂己, 48(20)
- 聴覚と音声に関する私どもの研究……………颯田 琴次, 65(20)
- 迷路廻転刺激後に眼球圧迫を加えた場合の脈搏及び血圧の変化……………佐藤笑子・他, 97(20)
- コリオリ加速度と迷路反射に就ての研究……………大和田健次郎, 142(20)
- 耳迷路外科の経験……………立木 豊, 151(20)
- 昨年の宿題報告「迷路の刺激とその影響に就て」の学説に対する余の批判……………石川 旭丸, 209(20)
- 重曹注射による石溶解の理論……………藤崎茂己, 14(21)
- 眩暈を訴えし異常頭位眼球震盪患者に対する重曹注射……………藤崎 茂己, 107(21)
- 余の考案した特発性頭振盪(頸振り病)の治療法に就て……………石川 旭丸, 161(21)
- 垂直性眼球震盪に就ての実験的研究……………大和田健次郎, 288(21)
- 耳迷路外科の経験(第2報)—ポルトマン氏手術の成績に就て……………立木 豊, 370(21)
- 電気眼震図に就いて……………鈴木篤郎・他, 102(22)
- 1 粘液浮腫患者の異常頭位眼球震盪……………松本 規純, 107(22)
- 迷路梅毒の2例……………山室 重遠, 193(22)
- 耳前庭機能障害を起したストレプトマイシン中毒症3例……………内藤 儒・他, 203(22)
- 温度性異常頭位眼震に就いて……………三好 佑・他, 210(22)
- クエン酸ソーダによる耳石の溶解……………大川内勝治・他, 241(22)
- 船暈予防に対する長谷川氏追試……………豊島 豊, 294(22)
- 半側知覚麻痺を合併した迷路震盪症例……………星 俊子, 315(22)
- 眼振と生理に関する2, 3(スポーツとニスタグムス)……………福田 精, 91(23)
- 爆発による迷路震盪症の2例……………秋山 登, 111(23)
- 重曹水注射により眼震方向転換せる1例……………泉 喜久夫, 114(23)
- 温度性異常頭位眼振と温度性第2相眼振に就て……………高橋 忠敏, 291(24)
- 前庭神経麻痺を惹起せる Streptomycin 中毒の3例……………天岸 太郎, 335(24)
- 人間に於ける体位と眼位との関係(その2)……………鈴木篤郎・他, 386(24)
- 血管性瘻孔症状を呈した1例……………石浦 純一, 229(25)
- 耳石をめぐる2, 3の問題……………佐々木寛・他, 65(25)
- 脈無病の耳科的所見……………市原 正雄, 256(25)
- 振子様眼震症の2例……………後藤 孝彦, 329(25)
- 耳石の本態……………佐々木寛・他, 361(25)
- 視性眼振と姿勢……………時田喬・他, 577(25)
- メニエール氏病に対するポルトマン手術の変法……………山川強四郎・他, 7(26)
- 各種薬剤による廻転後眼球震盪変化について……………柴正隆・他, 21(26)
- 耳石溶解の基礎的研究……………山本常市・他, 211(26)
- 頭部傾斜及び捻転の温度性眼震に及ぼす影響……………高橋忠敏・他, 275(26)
- メニエール氏病の学説と診療の進歩……………切替一郎・他, 587(26)
- 平衡生理学変遷……………福田 精, 645(26)